

ゼロ位置設定用ブランクキー

既に F-203・F-204 の複製をされている業者様

これから始めようとする業者様にご利用していただきたい製品です。

【注意】ゼロ位置設定の基本 ※弊社の見解

ディンプルキーマシンのゼロ位置設定は「純正キー」と「ブランクキー」で行わないでください。
板厚の誤差が大きい場合があります。

通常のディンプルキーであれば同じ板厚の「ブランクキー」同士で大丈夫ですが、同じ板厚でも
板厚公差は 0.05mm 以上あります。(日本材料の公差規格です。)

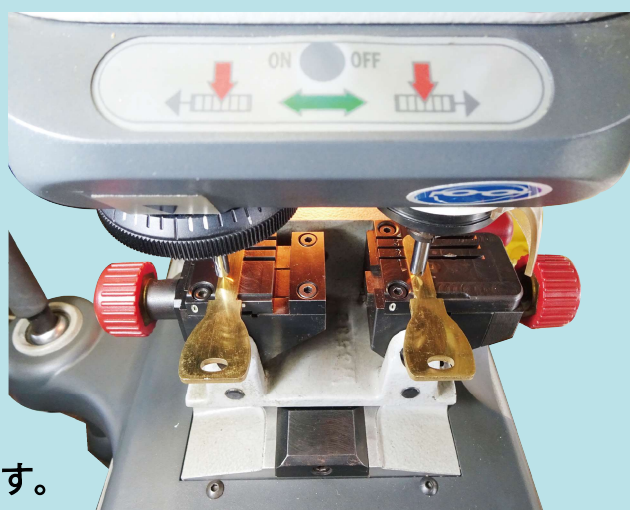
F-203(PS)・F-204(PR) ではゼロ位置設定の精度が特に重要となります。

※その他の FLAT キーのゼロ位置設定にもご利用いただけます。

最大(板厚) 誤差 0.02mm のブランクキー



※側面を直角に面取り(バイスにフィット)
※F-204 抜済(真鍮材料)



2本セットと4本セットでの販売となります。

MATRIX SLX/SX/Pro/Evo でのセンサー式ゼロ位置設定に使用してください。

ご使用されているディンプルキーマシンによっては若干のあそび等も考えられます。

各々のキーマシンに合わせたゼロ位置調整をおこなってください。

『F-203(PS)・F-204(PR) 複製の注意点』

カッターとガイドの設定は「深め」にはしないでください。

F109 等のピンタンブラーとは全く別物です。むしろ若干

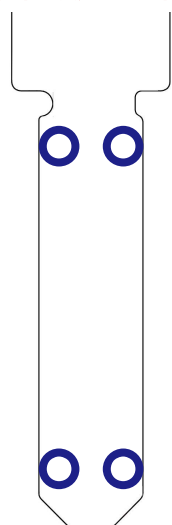
「浅め」をお奨めします。

右図のように同じ板厚のブランクキーの **4箇所** でゼロ位置設定をおこなってください。

カッター底辺の大きさや角度で抜き差しに問題が生じる場合があります。

弊社推奨のガイド「8」・カッター「PDCW」「PDCW-K」を使用し、
底辺を広げるような手元操作での加工をしないでください。

ゼロ位置設定は4箇所



お問い合わせは弊社製品取扱いの販売店までお願いいたします。 株式会社後藤製作所